

令和8年度 富士宮市認知症啓発フォーラム

その人らしさ なくならない ～脳科学からみた認知症～



令和8年

11月29日(日)

10:00～12:00 (開場9:30)

場所 富士宮市総合福祉会館
安藤記念ホール (宮原 7-1)

講師 脳科学者 恩蔵 絢子 氏
おんぞう あやこ

定員 250名 (先着順)



申込方法 10月13日(火) 午前9時から受付開始

①氏名 ②住所 ③電話番号 を、電話・FAX・窓口・電子申請で



←電子申請は
こちらから

〇〇〇 恩蔵絢子氏プロフィール 〇〇〇

脳科学者、東京大学大学院総合文化研究科特任研究員。

同居する母親が、2015年にアルツハイマー型認知症と診断され、以来娘として生活の中で表れる認知症の症状に向き合ってきた。一方で母親を脳科学者として客観的に分析することで、医者/患者、科学者/被験者という立場で研究するのとは違った認知症の理解を持つにいたり、情報を発信している。

絵本「その人らしさ なくならない」
(恩蔵絢子作、大谷たらふ絵、大泉書店、2025)



脳科学者の娘が記録した、認知症の母と過ごした大切な日々。世代を超えて伝えたい、母と子の愛と希望の物語

問い合わせ
申込先

富士宮市高齢介護支援課 (富士宮市地域包括支援センター)
☎ 0544-22-1591 おかけ間違いのないよう、お気を付けください

その人らしさ なくなる ~脳科学からみた認知症~

日時: 令和8年11月29日(日) 10:00~12:00 (開場/9:30)

場所: 富士宮市総合福祉会館 安藤記念ホール (宮原7-1)

講師: 脳科学者 恩蔵 絢子 氏

著書『脳科学者の母が、認知症になる』(河出書房新社、2018)、『感情労働の未来——脳はなぜ見えない”他者の心”を推しはかるのか?』(河出書房新社、2025)。共著に『なぜ、認知症の人は家に帰りたいがるのか』(永島徹氏との共著、中央法規出版、2022)、『認知症介護のリアル』(信友直子氏との共著、ビジネス社、2024)、『認知症の進行を早める生活、遅らせる習慣』(丹野智文氏との共著、中央法規出版、2025)、『化粧する脳』(茂木健一郎氏との共著、集英社、2009)。

絵本『その人らしさ なくなる』(恩蔵絢子作、大谷たらふ絵、大泉書店、2025)

申込方法

令和8年10月13日(火) 午前9時から受付開始

定員(250名)になり次第、締め切りとさせていただきます。

①氏名 ②住所 ③電話番号を、FAX・電話・窓口・電子申請で



電子申請は
こちらから

問い合わせ・申込先

富士宮市高齢介護支援課 (富士宮市地域包括支援センター)

電話:0544-22-1591 FAX:0544-28-4345

※FAXでの申し込みの際には、この用紙を使用してください

当日聞きたいこと、質問したい内容等がありましたら、こちらに記入をお願いします。

(当日、講師より質問内容の回答をいただく予定です。)



11月29日(日) 認知症啓発フォーラム 参加申込用紙

ふりがな		
氏名		
住所		
電話番号		